

歯科臨床概論

講 師	坪 口 哲 明	実施時期 単 位 数	第 1 学年前期 2 単位 (30 時間)	実務経験	○
一般目標 (GIO)	患者の全身的健康状態や全身疾患を把握するための医療情報、歯科疾患の診断および歯科衛生業務の実施に必要な基本的検査(口腔内検査、口腔機能検査、画像検査)および全身の一般検査の意義と関連を理解する。				
授 業 概 要	歯科衛生士として専門知識を円滑に習得できるよう、歯科医学、臨床を概論的に教授する。				
学 習 方 法	講義 診療見学				
成績評価の方法	定期試験(筆記)80%、レポート・出席状況等20% これらの総合評価。				
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会(編) 「歯科衛生士のための歯科臨床概論」医歯薬出版				
履修上の注意	歯科医学や臨床への入門科目です。授業内容の予習、復習をして授業に臨み総括的な理解をしてほしい。				
参 考 書	笠原浩 編・著「臨床の目 臨床の手」デンタルダイヤモンド社 1997年 桜井善忠 監修「すぐに役立つ歯科の知識」わかば出版 その他、適宜紹介する。				

授業計画

No.	授業項目	到達目標 (SBOs)
1	歯科診療のながれの概要	第1回目の見学に向けて歯科診療の内容、歯科衛生士の役割を理解し、最低限の専門用語を理解する。
2	歯科医療の認識と対応	歯科医療の特徴および特異性を理解する。歯科衛生士は歯科医療の一翼を担っていることを自覚し、医の倫理をわきまえて診療する必要があることを認識する。
3・4	見学	実際の臨床の現場で行われている治療を見学し、歯科医師と歯科衛生士の業務内容を把握する。
5	歯科患者の認識と対応	幼時から高齢者、障害を持つ人までライフステージ全てにおいて歯科診療の対象となり、歯科医師、歯科衛生士による専門的対応の重要性を理解する。
6	歯科疾患の概要、歯科診療所	歯科疾患の種類と診療内容を把握し、歯科診療所の設備、スタッフの職種スタッフ業務を理解する。
7	歯科治療の概要(歯科保存治療)	歯科保存治療の対象疾患および診療内容を把握し、その重要性を理解する。
8	歯科治療の概要(歯周治療)	歯周治療の対象疾患および診療内容を把握し、歯周疾患の予防、治療において歯科衛生士が重要かつ多くの役割を果たしていることを認識する。
9	歯科治療の概要(歯科補綴治療)	歯科補綴治療の対象疾患および診療内容を把握し、補綴装置を装着した後の歯科衛生士の役割を認識する。
10	歯科治療の概要(小児・矯正歯科治療)	小児歯科、矯正治療の対象疾患および診療内容を把握し、小児の発達と共に変化する口腔内環境に対応した指導管理の重要性、矯正治療の必要性を理解する。
11	歯科治療の概要(口腔外科治療)	口腔外科治療の対象疾患および診療内容を把握し、歯科衛生士として最低限必要な全身疾患の知識を習得する。
12	歯科医療の変遷	今日の歯科医療が古くからどの様な道を辿り、今日に至ったかを理解する。
13 ～ 15	歯科診療のながれの概要	今までに習得した歯科臨床概論の知識を下に、第2回目の臨床見学に臨み、歯科衛生士専門学校の学生としてモチベーションをあげる。